

特別支援教育だより

ほほ笑み便り

NO. 1



平成30年5月2日

杉並区立八成小学校

校内委員会

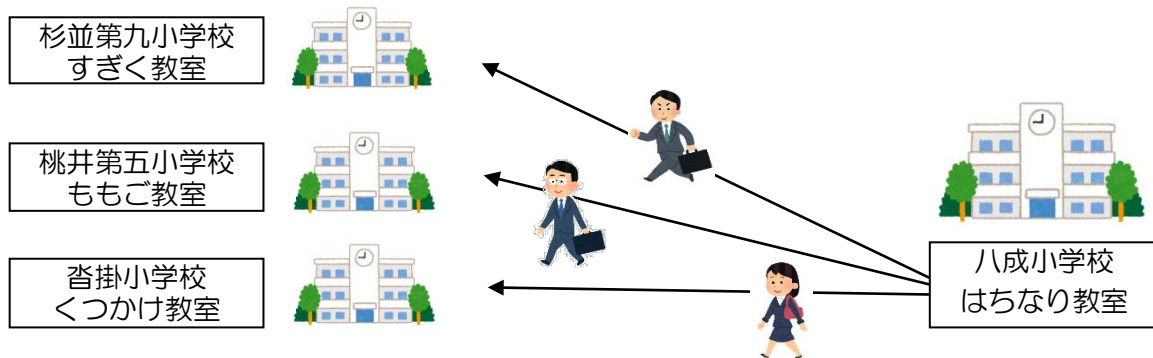
校内委員会から特別支援教育だより「ほほ笑み便り」を発行します。このお便りでは、八成小学校が特別支援教育として取り組んでいることやお子さんの行動理解・子育てのヒント等についてお知らせをしてまいります。かけがえのないお子さん一人一人の成長に向けて、これを一つのきっかけに家庭と地域と学校が協力していければと願っております。

今回は、新しくスタートした「はちなり教室」について紹介をします。

「通級指導学級」から「特別支援教室」へ

他校から通ってくる従来の「通級指導学級」から、自校で指導を受けられる「特別支援教室」へと指導形態が大きく変わりました。八成小学校が拠点校となり、はちなり教室担当の教員6名が曜日ごとに杉並第九小学校、桃井第五小学校、沓掛小学校の各特別支援教室へ指導に行きます。これにより、お子さんは、自校で指導・支援を受けられるようになります。

はちなりエリア



八成小学校の児童の指導日は表の通りです。

裏面には、はちなり教室での指導内容についての説明を載せてありますので、ご覧ください。

	月曜日	火曜日	水曜日
午前	○	○	
午後	○		○

はちなり教室についてご質問がございましたら、以下の連絡先までご連絡ください。

連絡先

特別支援教育コーディネーター 5-1 担任 池田 03-3399-3138 (学校代表)

特別支援教育コーディネーター はちなり教室担当 杉村 03-3399-3181 (はちなり教室直通)

「はちない教室」ってどんなところ？

ピアノやサッカーが上手になりたい子には、ピアノ教室やサッカー教室があります。同じように、「友達と仲良く活動したい。」「学びやすい方法で勉強がしたい。」というお子さんの意欲や願いをサポートする場が「はちない教室」です。苦手なことを訓練する場ではありません。できることを増やし、得意な力で苦手な部分の補い方を見付けていきます。

在籍校での学習や生活をより楽しく充実したものにしていくために、お子さんのニーズに合わせて学習を進めていきます。お子さんの「できる!」「分かった!」「楽しい!」を増やししながら、在籍学級で学習、生活する力を育み、よりよい成長・発達を促します。

学習の内容について

在籍学級で学ぶために、友達とのかかわり方や、認知の特性を生かした学び方をサポートします。

小集団グループで友達とのコミュニケーションの取り方や自分の考えを言葉で伝える経験を通して、より良い関係性の築き方を学んでいきます。また、必要に応じて学び方の特性に応じた教材を活用し、お子さんにとって学びやすい方法で学習をします。

利用の仕方について

一週間に1～2回程度、お子さんの様子に応じて数時間の指導（集団指導や個別指導）を受けることができます。在籍学級での学習や生活が落ち着いてきたら、特別支援教室での指導回数を減らしていき「退室」を目指します。

また、「利用しなければならない場所」ではなく、お子さんの様子に応じて利用方法や回数を調整することができます。相談をしながら、お子さんに合った利用方法を考えていきます。

コミュニケーション

子供同士のかかわりを重視しながら、コミュニケーションの促進を図ります。自分の思いを言葉にして相手に伝えたり、表情や会話の文脈から相手の考えを想像したりすることを通して、よりよい自己表現や友達との良好なかかわり方を学んでいきます。

お子さんの様子に応じて、以下の内容からよりよい教材や学習場面を設定していきます。

- ・言葉で説明する、交渉する
- ・集中し続ける
- ・見て記憶する、聞いて記憶する
- ・推理・推測する
- ・数量感覚を身に付ける
- ・質問をする

- ・勝ち負けの結果だけではなく過程そのものを楽しむ
- ・相手の表情に着目し気持ちを考える
- ・全体の状況を感じ取り判断する
- ・協力や合わせる楽しさを味わう
- ・話者に意識を向けて聞く



認知の学習

必要に応じて、お子さんの学び方の特性を探り、学びやすい方法での学習を進めていきます。学習の土台となる認知機能を高めることが目的です。

- ・文字の読み書き
- ・目の使い方（ビジョントレーニング）
- ・語彙を増やして理解する

- ・聞いたことをイメージする、記憶する
- ・筆圧や手首の柔軟さ、手先の巧緻性を高める
- ・数量感覚を養う など・・・